

学園祭から早1か月…！1年生は系列選択に向けた動きが、2年生はインターンシップ等の進路学習が深まってきましたね。今週末には邇摩高フェア。『With コロナ』での開催ですが、皆さんに出来る最大限のパフォーマンスをぜひみせてください！

## ★人権標語★ 校内優秀作品を発表します！

- 人生の ほとんどすべてが 助け合い（1年・Mさんの作品）
- 大丈夫 仲間がいるよ 身近にね（2年・Tさんの作品）
- 望まない その争いは誰のため（2年・Mさんの作品）
- ひとつの優しい言葉で救われる（3年・Tさんの作品）
- さしのべて その手はあの子の救いの手（3年・Kさんの作品）



夏休み中に全校の皆さんに作成してもらった人権に関する標語のなかから、各学年での選考を経て、以上5点を『校内優秀作品』として選出し、これらを『学校代表作品』として、大田市の人権に関する標語募集事業に応募しました（結果は後日お知らせしますね）。作品は、校内でも人権啓発のために活用させていただきます！

また、ここでは紹介しきれませんが、一人一人の体験にもとづいた、願いや訴えが込められているだろう作品が数多く提出され、担当としては感動しました…！皆さんの顔を思い浮かべながら、すべてに目を通しましたよ。皆さんのその「感性」をどうか大切にしてほしいです。作品の提出、ありがとうございました！

### <お知らせ>

## 人権に関する講演会「多様な性と自分らしい生き方」開催

- 日 時：11月22日（火）6限 LHR
- 場 所：体育館（全校集会）
- 講 師：佐藤みどりさん・多賀法華さん

<学園祭で予定していた講演を、日程変更して開催することになりました！お楽しみに！>

# 📌 人間関係をよくするヒント：「アンコンシャスバイアス」を知ろう！

## ▶ 私たちの日常は思い込みにあふれている！？

○アンコンシャスバイアスとは？	
-----------------	---

…無意識というのは、「気づかずに」「知らず知らずのうちに」ということを意味します。アンコンシャスバイアスは、過去の経験や見聞きしてきたことによってうまれるものです。皆さんのなかにも、例えば「血液型が■型の方は○○だ」、「▲▲出身の方は△△だ」、「年配の方は◇◇だ」など、知らず知らずのうちに「思い込んでいる」ことがある人はいませんか！？



### <アンコンシャスバイアスの代表例>

●正常性バイアス	(例)「わたしは大丈夫」、「わたしは問題ない」
●権威バイアス	(例)「あの人が言うなら間違いない」
●集団同調性バイアス	(例)「皆が××と言っているから私も…」
●確証バイアス	(例)「(入手する情報を信じて) やっぱり私が正しい」
●ネガティビティバイアス	(例)「前もダメだったから今度もダメに違いない…」
●インポスター症候群(無理バイアス)	(例)「私なんかどうせ無理」

…とくに高校生の皆さんに気づいてほしいのは、「ネガティビティバイアス」と「無理バイアス」です。過去のネガティブな経験(失敗など)を自分自身に刷り込んで、「自分にはできない」と決めつけ、自分の可能性を潰していませんか？また、人間関係をひろげたり築いたりするチャンスを、自ら奪っていませんか？

○アンコンシャスバイアスに気づかないでいると？	<ul style="list-style-type: none"><li>・適正な判断や評価ができなくなる。</li><li>・否定的になり、新たな発想が生まれなくなる。</li><li>・イライラすることが増える。</li><li>・知らず知らずのうちに人間関係に支障をきたし、いじめやハラスメントにつながることもある。</li><li>・自分の成長機会を失ったり、可能性をせばめてしまう。</li></ul>
-------------------------	---

## ▶ 「思い込み」や「決めつけ」を手放そう！

○「思い込み」や「決めつけ」を手放すには？	
-----------------------	---

…アンコンシャスバイアスは、誰しもが持っているものであり、持っていることが自体が問題ではありません。気づき、対処することが大切です。「私はこう考える、あなたはどう思う？」と、互いを尊重した対話を通して考えをすり合わせ、「納得解」に近づけることが、豊かな人間関係を築く秘訣です。ぜひ、「これって私のアンコンシャスバイアスかも？」と振り返ってみてください。

(参考)北村英哉『あなたにもある無意識の偏見 アンコンシャスバイアス』河出書房新社(2021)

戸田久実『アサーティブ・コミュニケーション』日本経済新聞出版(2022)

<この便りは持ち帰り、家庭等で「人権」について語り合うきっかけにしてください。人権教育推進スタッフ：森脇>